



地域を変える

POWER!!

地域おこし協力隊 活動報告 梶原 和貴さん



明けましておめでとうございませう。昨年12月末をもちまして、肝付町地域おこし協力隊の任期満了となりました。NPO法人 陸の宝島・岸良の会員の皆様、肝付町の皆様、大変お世話になりました。

この3年間、辺塚だだいの収穫・販売・商品開発・各イベントへの出店など、いろんなことを経験させていただきました。貴重な経験をさせていただき、誠に感謝しております。

昨年は、新型コロナウイルスの流行により各イベントの開催が中止となりました。

商品の販売も低迷しており、活動が制限されている中、10月初旬に辺塚だだいの氷結の販売が開始されるとともに、辺塚だだいの名前が一気に全国へ広がりました。辺塚だだいの認知度が向上することによって、県内外から青果の注文もより多くなり、昨年、上半期の売り上げ減少を少し取り戻すことができました。

また、10月中旬下旬にかけて、青果の収穫時期に鹿屋市の園児を迎え、収穫体験も実施することができました。

3年間という短い間でしたが、ご協力していただき、誠にありがとうございます。

今後とも『NPO法人 陸の宝島・岸良』をよろしくお願いいたします。

京和の (肝付町について) お国自慢



李 京和 (イ キョンファ)
地域おこし協力隊として活動中。韓国語講座や韓国料理教室などを行っている。

いつの間にか2020年も過ぎ、新しい2021年を迎えました。皆さん、あけましておめでとうございませう。昨年はコロナの影響で計画していた事が予定通りに進められず、個人的には落ち込んだ時期もありました。しかし、「韓国料理教室」を進行しながら肝付町の皆さんと交流が出来てやりがいのある一年だったと思えます。昨年の9月から始めている「韓国料理教室」は皆様のお陰で今も楽しく進めています。その中でも記憶に残る料理教室は、12月4日に行われた障がい者サロン「チャレンジどきもつき」の交流会でした。参加者の中には生まれて初めて韓国料理を経験された方もいらっしゃいました。初めて挑戦する韓国料理と一緒に楽しく作って、おいしく召し上がって下さった事が私にとってさらに意味深い時間になりました。今年もいろんな方々とお互いの文化を共有し、楽しく過ごせるように頑張ります。